

## 陸羽地震と坂本理一郎

明治29年(1896年)8月31日の夕方5時過ぎ、秋田・岩手の県境、真昼山地付近を震源とする、マグニチュード7.2の地震が発生し、多数の死傷者や家屋の全・半壊、田畑の損壊など甚大な被害を受けました。

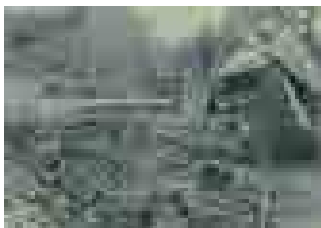
被害の大きかった東嶽邸を再建するにあたり、困窮していた多くの周辺住民を雇い入れ、昼には握り飯を振る舞ったといわれており、災害復旧事業の意味もあったのではないかと考えられています。



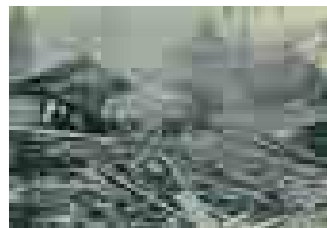
■震災から2日後 家族での写真(後列右が理一郎)



■旧東嶽邸の被災時の様子



■千屋村 被災の様子



■畑屋村 被災の様子



■六郷町 被災の様子

## 坂本理一郎(東嶽)略年表

- 文久元年(0歳) 父藤兵衛、母しげ子の長男として生まれる。
- 明治 3年(10歳) 六郷村熊野神社宮司 熊谷松陰に師事。
- 5年(12歳) 上京。同人社で洋学、根本通明から経書などを学ぶ。
- 7年(14歳) 慶応義塾に学び、犬養毅と出会い親交を深める。
- 14年(21歳) 六郷村の栗林易蔵の妹・ヤス子と結婚。
- 21年(28歳) 秋田県議会議員に当選。
- 26年(33歳) 衆議院議員に当選。
- 29年(36歳) 代議士を辞し、郷里の振興に専念する。  
陸羽地震が発生。
- 37年(44歳) 貴族院議員に勅任される。
- 40年(47歳) 貴族院議員を辞する。
- 大正 4年(55歳) 健康優れず一切の公職を辞し、療養につく。
- 6年(57歳) 静岡県韭山村の客舎で脳溢血により急逝する。  
墓碑の碑文、揮毫は友人の犬養毅。
- 12年 理一郎の銅像が一丈木公園に建立。



■貴族員議員時代の理一郎(左から3人目)



■衆議院議員時代の理一郎(写真左)



■完成時の理一郎の銅像

太平洋戦争時の金属回収運動により摂取され、昭和30年に再建されました。

坂本理一郎がわらび座にてミュージカルに

# びっくり理一郎 ～坂本東嶽とやすとうがく秋田が生んだ最強夫婦の物語～



12月3日からわらび座によるミュージカル「びっくり理一郎～坂本東嶽とやす 秋田が生んだ最強夫婦の物語～」の公演が始まります。

江戸から明治への転換期をエネルギーに駆け抜けた坂本理一郎と妻やすの物語。

出演者の皆さんに抱負をうかがってきました。(写真は制作発表時のもの)



坂本理一郎 役  
笠倉 祥文さん

坂本東嶽という人を演じるにあたって、すごい事をした人だなと思っておりますが、皆さんに楽しんでいただけるように演じていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



坂本やす 役  
丸山 有子さん

お客さんがほんとにびっくりするような、素敵な作品にしたいと思います。また観に来たいなと思っただけのような、魅力的な作品にしますので、地元の皆さん、ぜひいらしてください！



まり 役(ダブルキャスト)  
高田 綾さん

12月3日、公演初日ですが、それまで頑張って稽古して、美郷町の皆さんのみならず、全国の皆さんに楽しんでもらえる、そんなあったかい舞台を作りたいと思っております。観に来てください！



まり 役(ダブルキャスト)  
高橋 真里子さん

美郷町  
出身

出演が決まり地元の偉人の作品に出られる!と本当に喜びました。

舞台は目の前で生身の人間が演じる事で物語が身近に感じられます。理一郎さんがどんな人だったのか、何をした人なのか、この舞台を通して子供達をはじめ美郷町の方々、今を生きる沢山の方々にも身近に感じてもらえるよう、精一杯演じていきたいです。



■一般公開されたリハーサルの様子

予約・問●わらび座予約センター ☎0187(44)3939